

開講科目名 Course	情報法研究 / Information Law
時間割コード Course Code	10950
開講所属 Course Offered by	法学研究科修士課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 後期
曜限 Day, Period	火 / Tue 5
開講区分 semester offered	後期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2,3,4
主担当教員 Main Instructor	萩原 聡央
科目区分 Course Group	公法関係科目群
教室 Classroom	オンライン授業
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	萩原 聡央 (法学部)
授業の目標	この授業では、「情報の自由」と「情報の保護」の意味や内容について理解を深めるとともに、情報の自由と保護にかかる法制度について理解することを目標とする。
授業の概要	この授業では、情報のデジタル化や個人情報保護法の改正などをテーマとする論文の検討を通して、情報法制の役割や意義について考察する。 なお、この授業は遠隔で実施する。
評価方法	授業への参加状況および提出課題の内容に基づいて評価する。 定期試験は実施しない(上記評価方法により評価する)。
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	第1回 ガイダンス・宇賀克也「個的部門における個人情報の保護と利用」ジュリ1534号(2019年)20頁 第2回 山本隆司「行政手続のデジタル化の諸文脈」ジュリ1556号(2021年)14頁 第3回 須田 守「行政手続のデジタル化と法的課題」ジュリ1556号19頁 第4回 友岡史仁「行政過程のデジタル化と情報公開法・公文書管理法上の課題」ジュリ1556号25頁 第5回 庄司昌彦「データの公開・共有による行政の課題」ジュリ1556号31頁 第6回 佐藤一郎「技術者の視点からみた行政のデジタル化」ジュリ1556号37頁 第7回 森浩三「地方公共団体における行政手続のデジタル化と情報連携の実務的課題」ジュリ1556号44頁 第8回 陰山克典「不動産登記・商業登記に関する行政手続のデジタル化と情報連携の実務的課題」ジュリ1556号48頁 第9回 岡村忠生「租税手続のデジタル化と法的課題」ジュリ1556号53頁 第10回 高橋・小川・佐脇・富安・水野「〔座談会〕個人情報保護法の改正」ジュリ1561号(2021年)14頁 第11回 實原隆志「個人情報の定義等の統一」ジュリ1561号34頁 第12回 湯淺壱道「個人情報保護法改正と学術研究・医療への影響」ジュリ1561号40頁 第13回 石井夏生利「個人情報保護委員会による公的部門の監督」ジュリ1561号46頁 第14回 板垣勝彦「地方公共団体における個人情報保護の仕組みのあり方と国の関係」ジュリ1561号52頁 第15回 村上裕章「個人情報保護法改正と情報公開制度」ジュリ1561号58頁・まとめ
テキスト	テキストは使用しない。授業では、ジュリスト1534号(2019年)・1556号(2021年)・1561号(2021年)に掲載された論文(上記授業計画参照)を使用する。
参考書	宇賀克也・長谷部恭男編『情報法』(有斐閣) 祖我部真裕・林秀弥・栗田昌裕『情報法概説』(弘文堂) その他、適宜指示します。

アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含む
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	「Zoom」などの双方向型の遠隔授業を実施し、各テーマについて、受講者間で報告および議論を行う。
実務経験のある担当教員による授業	該当する
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	〔実務経験を活かした授業の内容〕 自治体の情報公開・個人情報保護審査会委員の経験を持つ教員が、情報の自由な流れの保障と情報の保護のバランスが必要であるとの視点から、行政や企業等における情報の取扱いをめぐる課題を解説する。
質問への対応方法	メールおよび「Zoom」などで対応する。
フィードバックの方法	メールおよび「Zoom」などで対応する。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	各回における論文について、毎回2時間の予習と2時間の復習を行うこと。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	4.質の高い教育をみんなに 9.産業と技術革新の基盤をつくろう
SDGs 17の目標（11～17）	11.住み続けられるまちづくりを 12.つくる責任つかう責任
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	